

アメリカ合衆国

派遣期間 2015年4月～2018年3月

ロサンゼルス補習授業校 帰国報

～ 知られていない日系アメリカ人の歴史 ～

美幌町立美幌小学校

教諭 相馬 一之

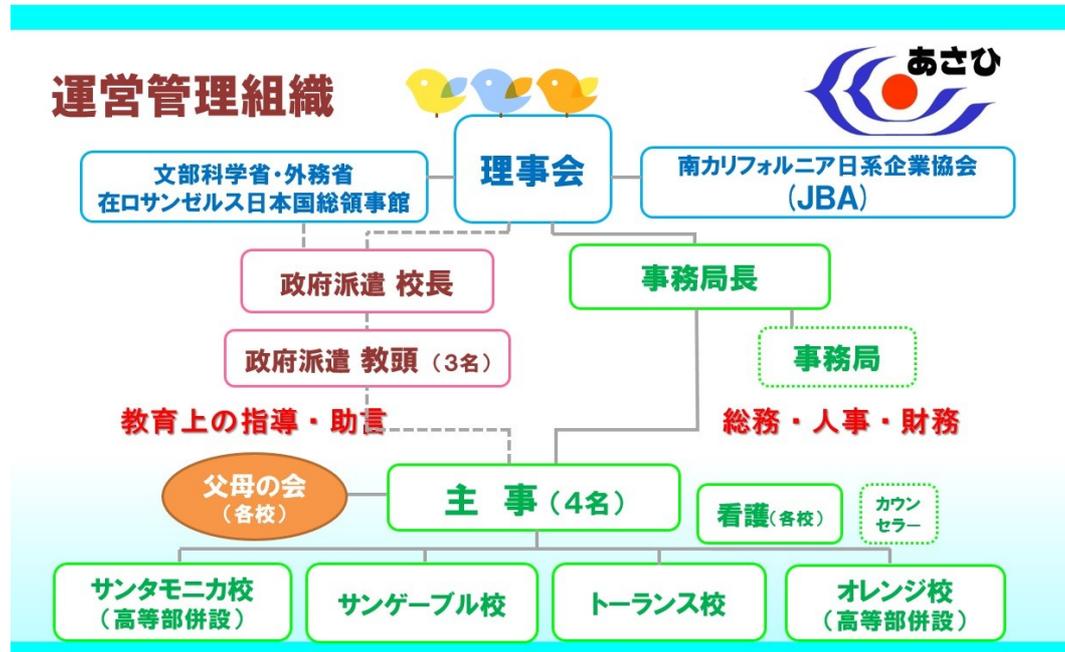
1 ロサンゼルスについて

ロサンゼルスはロサンゼルス郡内にある。同郡には他にビバリーヒルズ、サンタモニカ、ロングビーチなどが含まれる。郡の面積は12,308km²で、人口は約976万人。市内にはハリウッドなどがある。ロサンゼルスを中心とする広域都市圏は、グレーター・ロサンゼルス・エリアあるいはグレーター・ロサンゼルス、またはサウスランドなどと呼ばれるが、単にロサンゼルスと呼ばれることもある。広域都市圏の範囲は、ロサンゼルス郡とオレンジ郡（ディズニーランドで有名なアナハイムがある。）である。

気候については、沿岸部は地中海性気候，内陸部は砂漠気候に属する。年間降水量は300mm程度と少ない。特に夏の降雨が少なく、統計年によっては7月、8月の降水量が0mmであったこともある。1年を通して温暖だが、冬は雨も多く朝晩は10° C前後まで下がる。夏の日中は40° C近くまで上がることもあるが、乾燥しているため夕方を過ぎると涼しくなり、夜は15° C近くまで下がり肌寒くなることもある。

2 ロサンゼルス補習授業校の特色

南カリフォルニア日系企業協会（JBA）によって創設され、理事会により運営。文部科学省から人的支援として校長・教頭が派遣されるとともに、外務省から財政的援助も受けている。サンタモニカ校・サンゲール校・トーランス校・オレンジ校の4校があり、各校の責任者として主事を配置。各校に幼稚部・小学部・中学部が設置され、サンタモニカ校とオレンジ校に高等部が、また、2016年度よりトーランス校にも高等部が併設された。



3 ロサンゼルス補習授業校の目的

日本に帰国予定または将来日本で生活する可能性のある子どもが、日本の教育や生活環境に円滑に適応できるよう、日本の学校における学習および生活様式を学ぶ機会を与えるとともに、国際社会に貢献できる子どもを育成することを目的としている。

帰国しなくても、日本で生活しなくても、世界で活躍し、アメリカを初めとした他の国や地域から日本と日本人を応援する子どもを育てたい、という思いが込められている。

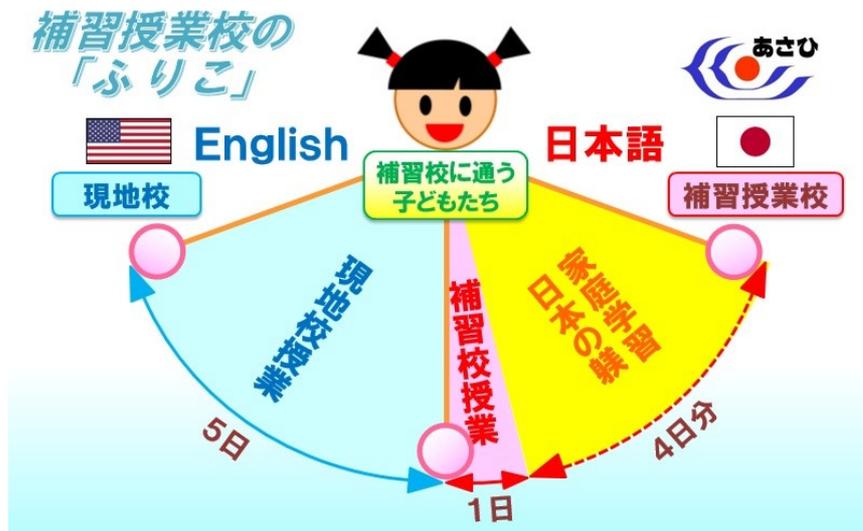
小学部1年・2年では国語3時間、算数2時間、学習教室1時間の授業を行う。学習教室では生活科・図工・音楽・体育に係わる活動を行っている。

1969年に開校し、現在までに約1万2千人の卒業生を輩出している。現在の児童生徒数は1350名となっており、世界でも有数の大規模校となっている。

小学部・中学部の学習			
小1・小2	国語3	算数2	学習教室1
小3~6	国語2	算数2	社会1 理科1
中学部	国語2	数学2	社会1 理科1

4 補習授業校は日本語を学ぶことが異文化交流

世界にある補習授業校にもいえることだが、本来の補習授業校は前にも書いたとおり、日本に帰国予定の児童生徒が学びに来る学校である。しかし、近年は日本と米国の二重国籍をもつ児童生徒が6割を占めているため、米国の教育を学び補習授業校で週1日だけ学ぶという生活スタイルは日本語を学ぶだけでも十分な異文化理解・交流となる。



ただ、アメリカの現地の授業と一日だけ行われる補習授業校だけでは2つの言葉をバランスよく身に付けることができない。上記のようにアメリカでは、現地の学習と日本の家庭学習を同じくらいの量で行わなければ、英語寄りの生活になり、自分が補習授業校に来ている意味が

わからなくなり、補習校を辞めてしまうという現状がある。そうならないためには、日本語の家庭学習をする際、保護者の協力が重要となってくる。本校の高等部を卒業する生徒たちは、完全なバイリンガルとなり、アメリカや日本の企業で活躍している。

5 在外派遣教員のいない在外教育施設の支援

1 はじめに

ロサンゼルス補習授業校に赴任してから3年目の平成27年（2015）年度に、外務省、文部科学省共催の北米西部補習校現地採用講師研修会という派遣教員のいない補習校を支援する研修会で、講師をする機会を得ることができた。

この研修会の目的は、本邦から教員が派遣されていない補習授業校における現地採用講師を対象に、教員として求められる学習指導の内容・方法等の基礎的・基本的事項について研修を行い、その資質及び指導力の向上を図り、もって補習授業校における邦人の児童生徒への教育の充実に資することとしている。

本邦から教員が派遣されていない北米西部地区の各補習授業校が輪番で幹事校となり、本研修会が運営されている。該当年度では、カルガリー補習授業校が幹事校となっていたため、本校の派遣教員2名で7月末にカナダに赴くことになった。

2 研修会受講対象

公館が管轄し、本邦から教員が派遣されていない補習授業校に所属する現地採用講師が研修の対象者となる。開催地区は北米4地区（東部・中部・中西部・西部）に分かれている。

地区名	管轄公館	補習授業校名
北米西部	在サンフランシスコ総領事館	ポート・オブ・サクラメント補習授業校 セントラルバレー日本語補習校 ラスベガス学園 グロスマン・アカデミー
	在シアトル総領事館 (在アンカレッジ領事事務所)	アンカレッジ日本人補習学校
	在デンバー総領事館	デンバー日本語補習学校 コロラド日本語補習校
	在ロサンゼルス総領事館	アリゾナ学園 西大和学園カリフォルニア校補習校
	在カルガリー総領事館	エドモントン補習授業校 サスカトゥーン日本語補習校 カルガリー補習授業校

3 各校の現状

本研修会の開催にあたり、各校の現地採用講師方が自己紹介と並行して現状と課題を報告したことを下記の表にまとめた。

<p>ラスベガス学園</p> <ul style="list-style-type: none">・ほとんどが永住者の子女。・昨年から幼稚園児の3歳学級を作ったが、保育内容が難しい。・日本人の子女ではない長期滞在や定住者の子女が多いので、日本語の定着が不十分。・近年、ラスベガスの周辺地域からの生徒が増えている。・来年3月に創立20周年記念行事を行うので、現在準備中。
<p>デンバー日本語補習校</p> <ul style="list-style-type: none">・永住者の子女が多く、日本語定着が良くない。・漢字の定着が難しい。・初春会(年始の書道大会・お茶・お琴の会)が、負担が多いという保護者の意見で今年よりなくなった。・昨年、学校が移動。
<p>アリゾナ学園</p> <ul style="list-style-type: none">・日本企業の駐在員が創立し、24年目。・国際結婚の両親の子女(日本語が母国語でない)が増えている。・祭りなど地域コミュニティーに参加。・午前は国語と算数の授業、午後は希望者のみ理科と社会の授業。・永住者の生徒には、生活が荒れている、挨拶をきちんとできない、協調性がない生徒がいる。・課題として、生徒が帰宅後、保護者とコミュニケーションがとれる雰囲気を作ること。
<p>エドモントン補習授業校</p> <ul style="list-style-type: none">・ほとんどが永住の子女。・毎年生徒が増えているので、教室と教師の確保が大変。・借用校なので、経済的な面と場所の問題で教室を増やせない。・授業は毎週金曜日の5:45PM~8:45PM。・日本の行事をたくさん取り入れている。・現地校の先生と補習校の先生のトラブルもある。・サマーキャンプは4日間。補習校の先生が監督し、日本の遊びや教科書を使わない学習をする。
<p>サスカトゥーン日本語補習校</p> <ul style="list-style-type: none">・教師は2名。・生徒は14名で全員永住者、内訳は日系子女3名、カナダ人11名。・日系企業の駐在がないので、生徒の確保が大変。・教科書は教師の手作り教材で行っている。

カルガリー補習授業校

- ・ 2月に小学部入学試験，3月に中学部進学試験を実施。
- ・ 小1～3，小4～6，中1～3の分科会での勉強会や研究授業を実施。
- ・ 国語と算数／数学の教科書は全て行う。理科・社会は授業で扱い，宿題に取り入れている。
- ・ 中1は地理，中2は歴史，中3は公民の中から課題を見つけ，夏休み中にそれを調べ2学期に発表。
- ・ 漢字検定準会場としての指定を5年前から受け，6月に実施。
- ・ 毎年1月には校内作文コンクールとかるた大会，2月には全校一斉漢字テストを実施。
- ・ 学年が上がるにつれて生じる学力の差をどうするかが課題。

西太和学園カリフォルニア補習校

- ・ 2歳～中3が在籍。3校あり，児童生徒数は各校160名程度。
- ・ 永住組が多い。
- ・ 授業は8：30～13：00。
- ・ 国語1は教科書使用。国語2は漢字練習。
- ・ 4年以上は理科・社会・体育から1科目を選択。
- ・ 以前は習熟クラスがあったが現在は無い。
- ・ 生徒数は学年が上がるごとにピラミッド型になり，小1は3クラスだが中3は1クラス。

4 研修内容

①授業シミュレーション

参加者を子供として国語及び算数の模擬授業を行った。

I 国語シミュレーション 単元名：すがたを変える大豆（宿題で本文を読んできた設定）

流れ	ポイント
導入	<ul style="list-style-type: none">・ あいさつをしっかりとする。・ 「単元名」と「めあて」を必ず表示する。・ 既習事項はこの時間で確認しておく。例) 説明文の構成：はじめ・中・終わり
展開	<ul style="list-style-type: none">・ 教科書を読ませるときは，視点を持たせるようにする。 例) 大豆を加工した食品が出てくるから，その順番に気をつける。・ 教科書を読ませているときの教師の立ち位置に注意する。四隅を上手く使い，黒板付近に張り付いていない。・ 全て子供にやらせるのではなく，教師からの提示があっても良い。・ 発問が悪いと「めあて」から遠い答えが返ってくる。発問はしっかり考えておく。・ 教科書への線引きは定規を使わせる。・ 国語力を上げる活動を「帯」として所々に入れる。いつも同じ活動をしているとそれが習慣になり，乱れた集中力を取り戻すことができる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none">・ 「めあて」に対する「まとめ」を必ず表示する。・ 家庭学習などでの復習も視野に入れて，教師が記入済みの学習シートを最後に配ってもよい。

II 算数シミュレーション① 単元名：わり算のしかたを考えよう 小単元名：倍の計算

※パワーポイントを使用

流れ	ポイント
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・「日常の中で倍という言葉を書いたことがありますか」＝身の回りの場面から「倍」という言葉の意味をふり返らせることにより、子供の思考を働かせることができる。 ・「単元名」と「めあて」を必ず表示する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の基本問題の重要な部分を隠し、何が問われているのかを子供に考えさせる。 ・どうしたら何倍かを測ることができるか？→テープ図を使えばよいことを引き出す。 ・テープ図が表示されていないくじらの親子の図を提示し、実際に測らせる。 (算数的活動) ・テープ図を式にする。いろいろな考えを引き出し、その中からこの単元で学ぶべき方法を子ども自身で理解し実践に生かす。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・何倍かを求めるときには、わり算を使って求めることができるということをおさえる。

III 算数シミュレーション② 単元名：分数をくわしく調べよう 小単元名：時間と分数

流れ	ポイント
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りで分数を使う場面を思い起こさせる。 ・「単元名」と「めあて」を必ず表示する。 ・45分が何時間かを何を使ったら表せるか→分数を使って時間を表すことを導く。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・教具である紙時計盤（自作）を用いて考えさせる。 ・45分を何等分すればいいの各々で考え、紙時計盤に定規で線を引かせる。 (算数的活動) ・自分の考えを発表させる。 例) $45/60, 3/4, 9/12$ ・発表の中から共通するものを問う。（約分すると全て $3/4$ となることを引き出し理解）
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・時間は分数で表すことができ、その際に必ず約分して表すことが大切であるということをおさえる。

②演習「指導案作成について」

I 指導計画と指導案立案上の教科書の扱いについて

- ・国語では限られた授業時間で効率的な指導を図るため、家庭学習との連携を考慮し指導計画を立てる。例えば宿題で音読を出すときには、その単元を読んだ感想を書かせることで、児童・生徒は内容を理解した上で最初の授業に入ることができる。
- ・算数は系統的に教材が配列されているので、それに沿って系統的な指導を重視した計画を立てる。計算などの基礎的な処理技能は、家庭学習で高められるよう計画する。例えば計算の練習問題は、教師がいくつか選んで児童生徒に解かせ、残りは宿題にする。
- ・社会では作業学習を取り入れ、社会的事象に対する興味・関心を引き出しながら授業を進めたり資料集を活用したりする。1枚の写真を提示し、そこから興味・関心を引き出しながら授業を進める。
- ・理科では可能な範囲で教材教具を開発し、できる限り直接経験を学習に取り入れた計画を立て

る。

直接経験できない場合は、DVDや映像を活用する

II 学習指導案の作成にあたり

- ・ 単元名、めあてを必ず書く。
- ・ めあてを必ず設定し、最後のまとめはめあてに対応
- ・ 書くべきことを精選する。
- ・ 算数は算数的活動をなるべく取り入れる。
- ・ 留意点（児童生徒に理解させる部分）と評価（児童生徒が理解する部分）を確認する。
- ・ 児童生徒が活躍できる場面を作る。



III 学習形態

- ・ 同じ学習形態だけで授業を進めるのではなく、児童生徒の発達段階や学習の実態等に配慮しながら理解の状況に応じた繰り返し学習、興味・関心や理解の状況に応じた課題学習、補充的な学習、発展的な学習等の学習活動に適した学習形態を柔軟かつ多用に導入することが重要である。

例) 一斉学習、グループ学習、ペア学習、個別学習といった学習形態がある。

iv 指導案の発表

- ・ 3名から4名の現地採用講師が一つの指導案を作成した。いろいろな情報やそれぞれの経験から、

どのような指導案を組み立てようかと、楽しみながら作成したものを発表していただいた。

- ・ 小3算数「かけ算のしかたを考えよう」

時間短縮と、どのように発音をしたら児童の頭をずっと働かせるかに留意しながら作成した。

- ・ 小5国語「説明のしかたの工夫を見つけ、話し合おう」『天気を予想する』 第2時／全3時
めあてを意識しながら考えた。初めに提起したものが繋がっていき、最後まで筋の通った授業

に

なるよう留意した。

- ・ 小2国語「考えたことを話そう」『どうぶつ園のじゅうい』 第3時／全5時

ワークシートを配るタイミングは、白板にワークシートを映写して作業を説明した後にして、

児

童が集中するようにした。展開のワークシートにペア学習で取り組む際時間配分に苦勞した。

- ・ 中1国語「つながりを読む」『大人になれなかった弟達に』 第1時／全2時

予め宿題で、戦争に関する情報を本・インターネット・家族から集めさせる計画。作者のメッセージ（戦争への怒り、母の強さ、命の大切さ）を生徒たちに学んでもらえるように考えた。

- ・ 中3社会公民「現代民主政治と社会『国の政治の仕組み』」

導入で教科書にある国会の写真を白板に映して発問「何をしているところ？」「この人たちは誰？」

5 研修会後のアンケートのまとめ

①授業シミュレーションについて

- ・具体的なヒントが得られた。
- ・実際の授業に生かせるものだった。
- ・誘導する方法が参考になった。
- ・普遍的な注意事項とその具体的な実践例を学ぶことができた。
- ・補習校の実情をふまえたアドバイスがとても役に立った。

②演習：指導案作成について

- ・授業シミュレーション後、実際にプランを立てる演習が良かった。
- ・指導案作成が効率よく授業をするために大切だと気づきました。
- ・指導案作成時、他の補習校の先生と話し合いながら作成でき、いろいろな情報交換ができた。
- ・補習校の役割についても詳しくお話いただいて、教える側の今後の方向性が見えた。

6 日系アメリカ人の歴史

12月8日（アメリカ時間では12月7日）に日本海軍艦隊によって行われた真珠湾攻撃をきっかけに1942年2月下旬から、カリフォルニア州やワシントン州、オレゴン州などのアメリカ西海岸沿岸州と準州のハワイからは一部の日系アメリカ人と日本人移民約120,000人が強制的に完全な立ち退きを命ぜられ、アメリカ

全土の11ヵ所に設けられた強制収容所に強制収容された



1943年1月、日系人による連隊規模の部隊が編制されることが発表され、強制収容所内などにおいて志願兵の募集が始められた。部隊名は第442連隊である。1944年10月24日、第34師団141連隊第1大隊、通称「テキサス大隊」がドイツ軍に包囲されるという事件が起こった。彼らは救出困難とされ、「失われた大隊」と呼ばれ始めていた。10月25日には、第442連隊戦闘団にルーズベルト大統領自身からの救出命令が下り、部隊は出動した。10月30日、ついに、テキサス大隊を救出することに成功した。しかし、テキサス大隊の211名を救出するために、第442連隊戦闘団の216人が戦死し、600人以上が手足を失う等の重傷を負った。



欧州戦線での戦いを終えた後、第442連隊戦闘

団はその活動期間と規模に比してアメリカ合衆国軍事史上でもっとも多く勲章を受けた部隊となり、歴史に名前を残すことになった。戦闘団は総計で18,000近くの勲章や賞を受けた。

1988年にロナルド・レーガン大統領は、「日系アメリカ人の市民としての基本的自由と憲法で保障された権利を侵害したことに対して、連邦議会は国を代表して謝罪する」として、強制収容された日系アメリカ人に謝罪し、また、日系アメリカ人や日本人に対する強制収容についての教育をアメリカ国内の学校で行うために総額12億5千万ドルの教育基金が設立された。



2010年10月にオバマ大統領は、442連隊戦闘団と陸軍情報部に、アメリカ合衆国において最高位の勲章である議会名誉黄金勲章を授与する法案に署名した。現在のアメリカ陸軍では、442連隊戦闘団の歴史を学ぶ授業は必修課程となっている。

7 アメリカの国立公園

アメリカ合衆国の国立公園には約60もの国立公園があり、1872年に世界ではじめて成立した国立公園制度である。国立公園は、連邦内務省の国立公園局が管理責任を持っている。国立公園局は、すべての国立公園、多くの国定記念物、その他さまざまな名称のついた保護物と歴史的な特徴を管理するアメリカ合衆国連邦機関である。



イエローストーン国立公園は世界最古の国立公園であり、ワイオミング州北西部を中心として8,980平方kmにわたる。

この国立公園は様々な間欠泉や温泉、地熱によるその他の見所であり、グリズリーやオオカミ、アメリカバイソン（バッファロー）やワピチ（エルク）の群れが牛息している。



ブライスカanyon国立公園は、浸食によってできた巨大な自然の円形劇場である。ブライスカanyonは、「土柱」と呼ばれる独特の地質構造を有する。赤、橙、白の岩の色が、公

園

を訪れる人々に見事な風景を見せてくれる。



アーチズ国立公園は、米国の国立公園で、類を見ない様々な地形に加え、世界的に有名なデリケート・アーチを含む、2,000 を超える自然にできた砂岩のアーチを保護している。